

5 用語解説

【I】

ICT教育

情報通信技術(information and communication technology)を活用した学校教育のこと。デジタルテレビや教員用コンピューター、インターネット環境下での学生用タブレット端末などを用い、教育の質の向上を目指すもの。

【あ行】

医療的ケア児

医学の進歩を背景として、NICU（新生児特定集中治療室）等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児童のこと。

インクルーシブ教育

人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み。

英語指導助手(ALT)

AssistantLanguageTeacher の略。日本人教師を補佐し、生きた英語をこどもたちに伝える英語を母語とする外国人を指す。

親支援回復プログラム(MYTREE)

一般社団法人 MY TREE が開発した、子育てにつらさを感じている親による児童虐待の未然の防止及び再発防止を図ることを目的に実施するプログラムのこと。親自身が抱えている悲しみや怒りの感情と向き合い、親が本来持っている問題解決力及びセルフケア能力を回復させる。

【か行】

教育支援ルーム(パル・アミ・メイト)

不登校や登校渋りなど、外出や登校が出来ない小中学生に対して、再登校や社会的自立へ向けた支援を行うための教室。様々な活動を通して、安心して自己を表現し、自信を取り戻すことの出来る「心の居場所」となることを目的に運営している。

協働

市、市民活動を行う者、市民及び事業者が共通する目的・ビジョンの実現に向けて、それぞれの果たすべき役割と責任を理解し、互いの特性を生かして協力し行動すること。

グリーンベルト

歩道と車道が区分されていない道路において、ドライバーが車道と路側帯を視覚的に、より明瞭に区分できるようにして交通事故を防止することを目的として設置している路面標示。

子ども食堂

地域のこどもたちが、無料やわずかな負担で食事をしたり、時間を過ごしたりできる場所。こどもからお年寄まで利用でき、地域の人々がつながる場所としての役割も担う。

コーホート変化率法

一定の期間内に生まれた集団について、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法。

【さ行】

サポートプラン

支援の必要性が高い妊産婦・こども及びその家庭を中心に、当該支援対象者の課題と解決のため当事者ニーズに沿った支援方針を作成する過程で、支援対象者自身が、自らの課題と得られる支援内容を理解し円滑に支援を受け、状況の変化に応じた支援内容の見直しをすること、また、支援対象者に関わる関係者が支援内容等を共有し、効果的な支援を実施するためのもの。

さわやかフレンド

不登校の児童生徒に対して、話し相手や遊び相手、学習補助をする有償ボランティアのこと。

児童発達支援センター

児童福祉法に基づく、地域における障害児支援の中核としての役割を担う機関。高度で専門的な知識及び技術を必要とする児童発達支援を提供し、あわせて障害児の家族、指定障害児通所支援事業者、その他関係者に対し、相談、専門的な助言、その他必要な援助を行う。

児童養護施設

保護者のない児童や保護者に監護させることが適当でない児童に対し、安定した生活環境を整えるとともに、生活指導、学習指導、家庭環境の調整等を行いながら養育を行い、児童の心身の健やかな成長とその自立を支援する機能をもつ施設。

社会資源

生活するうえで様々なニーズや問題解決のために使用する各種の施設、制度、機関、知識や技術などの物的・人的資源等の総称。

主任児童委員

小学校を訪問し、教員や地域住民、専門機関などと連携しながら児童虐待やいじめ、不登校のほか、子育ての不安などの相談に応じ、問題解決に当たっている児童福祉に関することを専門的に担当する民生委員・児童委員とは別の委員。

食育

生きるうえでの基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置づけるとともに、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。

スクールカウンセラー

学校に配置され、心の問題の専門家として児童・生徒の生活上の問題や悩みの相談に応じるとともに、教師や保護者に対して指導・助言を行う。その多くは臨床心理士。

スクールソーシャルワーカー

児童・生徒が学校や日常生活で直面する悩みについて、子どもと向き合うだけでなく、家庭をはじめ医療機関、福祉関係施設、警察など外部機関と連携しながら、子どもを取り巻く環境を調整し、解決を支援する専門職。社会福祉士や精神保健福祉士などが担うことが多い。

スーパーバイザー

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに対して専門的な指導助言を行う専門家。スーパーバイザーによる個別ケースに対する指導助言、事例検討会などを行うことでスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの力量アップを図っている。

青少年指導員

青少年の心身ともに健やかな成長を願い、その健全育成を地域ぐるみで推進するため、青少年に対する理解と愛情があり、健全育成に対する熱意を持つ人に摂津市教育委員会が委嘱している。

【た行】

地域型保育事業

0～2歳児を対象とし、小規模保育（定員6～19人を対象で保育を行う）、家庭的保育（保育者の居宅等で利用定員5人以下で保育を行う）、居宅訪問型保育（保育を必要とする子どもの居宅で保育を行う）及び事業所内保育（事業所の保育施設などで従業員の子どもと地域の子どもの保育を行う）を行う事業。

地域子ども・子育て支援事業

市町村が地域の実情に応じ、市町村子ども・子育て支援事業計画に従って実施する事業。

チーム学校

校長のリーダーシップの下、カリキュラム、日々の教育活動、学校の資源が一体的にマネジメントされ、教職員や学校内の多様な人材が、それぞれの専門性を生かして能力を発揮し、子供たちに必要な資質・能力を確実に身に付けさせることができる学校。

つどいの広場

子育て中の親子が気軽に交流できる場を提供し、育児相談や情報提供などを行い、子育ての負担をやわらげ、安心して子育て・子育てができる支援を行っている地域子育て支援拠点事業の実施施設。

【な行】

認定こども園

教育・保育を一体的に行う施設。保護者の就労状況が変化した場合でも、通い慣れた園を継続して利用できることが大きな特徴で、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持つ。子育て支援の場も増えており、園外の家庭でも、子育て相談や親子の交流の場への参加などで、利用することができる。

ネグレクト

こどもに対し、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない、家に閉じ込める等の行為を行うこと。

ノーマライゼーション

障害のある者も障害のない者も同じように社会の一員として社会活動に参加し、自立して生活することのできる社会を目指すという理念。

【は行】

ファシリテーター

集会・会議などで、テーマ・議題に沿って発言内容を整理し、発言者が偏らないよう、順調に進行するように口添えする役。

フレイル

加齢により、心や体のはたらきが弱くなった状態。

【ま行】

前向き子育てプログラム(トリプルP)

オーストラリアで開発された親向けプログラム。こどもの発達を促しつつ、親子のコミュニケーション、こどもへの問題行動への対処法など、それぞれの親子に合わせた方法に変えていくための考え方や具体的な子育て技術を学ぶ。こどもの自尊心を育み、育児を楽しく前向きにしていこうようにデザインされている。

ミドルリーダー

組織の中で教職経験や教育実践を踏まえた知恵や力量を活用して、学校のチーム化に貢献し、学校の課題解決に重要な役割を果たすことができる教職員のこと。

民生委員・児童委員

民生委員法に基づき、厚生労働大臣より委嘱された非常勤の地方公務員であり、それぞれの地域において、常に地域住民の立場から生活上の様々な相談に応じ、行政をはじめとした適切な支援やサービスへのつなぎ役の役割を果たします。福祉関係者と連携し住民の福祉の増進を図るための活動を行います。

【や行】

ヤングケアラー

法令上の定義はないが、一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどもとされています。

【ら行】

療育

発達に支援の必要なこどもが社会的に自立することを目的として、こどもの持っている能力を十分に発揮できるよう援助すること。